

持続可能な調達のための
SCP チャレンジプログラム（仮称）

2017年11月

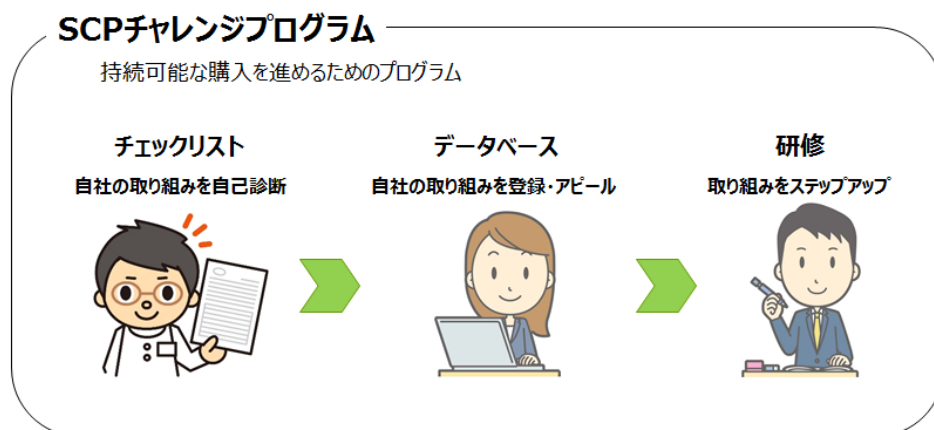
グリーン購入ネットワーク（GPN）

1. SCP チャレンジプログラム（仮称）

国連が 2015 年に定めた持続可能な開発目標（SDGs）における目標 12（持続可能な消費と生産パターンの確立）や UNEP が推進するプログラム（持続可能な公共調達プログラム）、ISO20400（持続可能な調達）、東京オリンピック・パラリンピック 2020 大会における持続可能な調達の実施等、調達を通じて持続可能な社会の構築につなげるための仕組みや取り組みが広がってきています。

SCP（Sustainable Consumption and Production）チャレンジプログラム（仮称）は、環境面への配慮に加え、人権・労働等の社会面等へも配慮された製品やサービス等の購入（持続可能性を考慮した購入）を推進するために、事業者及びその事業者が製造する製品・サービス、さらにはサプライチェーンにおける環境面及び社会面の取り組みをチェックするとともに、チェック結果をアピールし、さらには研修等を通じて取り組みを伸ばすプログラムです。

グリーン購入ネットワーク（GPN）は、SCP チャレンジプログラム（仮称）の普及及びプログラムへの参加、官公庁等における入札や企業間のビジネスでのチェック結果の活用等を通じて、事業者の環境面、社会面への取り組みを促し、環境面、社会面に取り組む事業者が製造する製品・サービスの優先的購入（持続可能性を考慮した購入）を拡大させることを目指します。



2. 対象者

- ・官公庁等における入札や企業間のビジネスにおいて自社の取り組みをアピールしたい事業者
- ・入札参加事業者や取引先の取り組みを把握したい官公庁、事業者

3. SCP チャレンジ評価チェックリスト（試行版）

SCP チャレンジ評価チェックリストは、事業者及びその事業者が製造する製品・サービス、さらにはサプライチェーンにおける環境課題及び社会課題に配慮した取り組みを行うために重要な観点をリストアップしたものです。

（1）チェックリストの構成

チェックリストは、以下の 5つのカテゴリから構成されています。

[ア] 企業情報	基本情報／報告書の発行状況／所属団体／表彰制度／格付け・SRI 調査の状況
[イ] 自社のグリーン購入の取り組み状況	グリーン購入の取り組み

[ウ] 持続可能な調達に関する自社の取り組み状況	法令遵守／環境への取り組み／人権・労働等／公正取引・倫理／情報セキュリティ／その他
[エ] 持続可能な調達に関する自社の製品・サービス	入札対象製品群もしくは PR 商品／環境ラベルの取得状況、LCA、環境配慮設計等／製品・サービスの原材料／その他
[オ] 持続可能な調達に関するサプライチェーンの取り組み	サプライヤーへの確認等

(2) チェックリストの活用方法

<事業者>

①自らの取り組み度を測る	自社及び自社が製造する製品・サービス、さらにはサプライチェーンにおける環境面及び社会面の取り組みを自己診断するために活用することができます。 最初に自己診断し、チェックできなかった項目をどのように取り組むか、社内で計画を立てたり、取り組み方を学ぶための研修会に参加したりするための自己診断ツールとして活用できます。
②チェック結果をアピールする	自己診断した結果を SCP チャレンジデータベースに登録し、自社の取り組みを取引先等に応用することができます。

<発注者>

①既に取り引の事業者の取り組み状況を把握する	既に取り引のある事業者や入札に参加する事業者について、チェックリストへの回答やSCPチャレンジデータベースへの登録を要請し、取り組み状況を把握することができます。
②取り組みの進んだ事業者を探す	新たな事業者を探すために、SCP チャレンジデータベースの登録事業者を検索したり、取り組み度で絞り込んだりして、取り組みの進んだ事業者を探すことができます。

※チェック結果が活用されるように、東京オリンピック・パラリンピック 2020 大会組織委員会やビジネスチャンス・ナビ 2020、持続可能な調達に取り組む団体、企業評価を実施する金融機関や団体との連携や情報提供等を推進していきます。

4. データベース

チェックリストに沿ってチェックした事業者の取り組み情報を「SCP チャレンジデータベース」に掲載し、入札参加事業者や取引先の取り組みを把握したい官公庁、事業者に対して、広くアピールすることができます。チェック結果は、取り組み度に応じて複数のレベルで表示する他、国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）への対応等、外部の基準や枠組みへの対応も表示します。

5. 研修

チェックリストに沿った取り組みを伸ばすための研修を開催します。

研修では、環境面や社会面に取り組む意義やビジネス上のチャンスやリスク、各項目の取り組みを導入するためのポイントや事例を紹介します。